

捕えられた伍長 (1961)

LE CAPORAL EPINGLE
THE ELUSIVE CORPORAL

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ 戦争

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 105分

初公開日 1988/01/09

公開情報 ケイブルホーク

【解説】

「大いなる幻影」を思わせる、捕虜収容所からの脱出を描く物語だが、あの崇高にヒューマニズムを謳いあげた作品と較べれば、実に軽妙で自由闊達、これぞルノワール映画である。第一次大戦と第二次大戦との時代背景の差（階級意識やナショナリズムさえも後者ではかき消えつつある）はあるが、それは最晩年に到るにあたり、ますます大らかな表現を志向する老匠の精神の若さに負う所、大であろう。’40年6月の独仏休戦協定で解放されると信じて当ての外れた伍長たちは、収容キャンプからの脱出を試みる度に失敗し、次第に祖国から引き離され、仲間も失っていくが、不屈の闘志の持ち主（というか脱走が人生の目的化している）である伍長と彼の腹心パテールは、ドイツ娘の歯科助手の援助もあって、遂に逃亡に成功する。それを“普通の人物の日常的な戦い”として描きたかったと言うルノワールは、おかしみの中に痛みを盛り込んでも決して感傷に流されない、ひたすら自由に向かって歩き続けるような、前のめりの映画にしてみせた。

【クレジット】

監督	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
原作	ジャック・ペレ	
脚本	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
	ギイ・ルフラン	Guy Lefranc
撮影	ジョルジュ・ルクレール	Georges Leclerc
音楽	ジョセフ・コズマ	Joseph Kosma
出演	ジャン＝ピエール・カッセル	Jean-Pierre Cassel
	クロード・ブラッスール	Claude Brasseur
	クロード・リッシュ	Claude Rich
	ジャン・カルメ	Jean Carmet